



未来の先生展
2017

SDGs×レゴ 体験の言語化

～レゴを活用して世界ゴトを自分ごとにつなげよう～

ワークショップ形式

開催日時 2017 年 8 月 26 日 (土) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス3号館3F 304教室

司 会 者 井澤 友郭 (こども国連環境会議推進協会 事務局長)

内容

「SDGs」というキーワードを聞いたことがありますか？

2015年9月に国連の「持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）は、国際理解やリーダーシップ開発に限らず、あらゆる教科において重要になるトピックスです。本プログラムは、8/26（土）14:20～15:50/パネルディスカッション「現場と世界のSDGs」の受講後のご参加を推奨いたします。自分とは遠く難しいと思いがちなSDGsの世界を、パネルディスカッションの体験を思い出し、その時に感じたこと、考えたことをレゴを通じて手を動かして語りながら振り返る中で、「誰かの問題＝世界ゴト」ではなく「自分の問題＝自分ゴト」として、SDGsについて主体的に捉えていくことを目指します。

ここに注目！

レゴ®シリアスプレイ®を活用した言語化（リフレクション）は、デザイン思考やナラティブ・アプローチ、経験学習、U理論など、さまざまなメソッドを取り入れています。ポストイットやワークシートなどの書かせる言語化だけではなく、手を動かして語る言語化が、ただ一つの正解などない探求的な学びにつながると考えています。主体的な人材を育てるために、対話的で構造的な学びの場をガイドすることは重要ですが、レゴを活用したメソッドは、大きなヒントになると考えています。SGH指定校にも提供実績のあるプログラムです。グローバル人材育成、経験学習、PBL、プレイフル・ラーニング、ファシリテーション、ワークショップ デザインなどに興味関心のある方は、ぜひご参加ください！

団体（個人）プロフィール



井澤 友郭（いざわ ともひろ） こども国連環境会議推進協会 事務局長

大阪大学 大学院 招聘研究員、ワークショップ デザイナー、LEGO®SERIOUS PLAY®ファシリテーター

「持続可能な社会を実現する人を創る」をテーマに活動をしている教育NGO「こども国連環境会議推進協会」の事務局長として、2003年から活動。「持続可能な開発目標：SDGs」や「危機管理」をテーマに、課題解決やリーダーシップ開発などのワークショップを年間200回以上開催し、延べ1万人以上の社会人・学生を育成してきた。

参加者へのメッセージ

過去に参加した教育関係者、企業や自治体職員の感想メッセージを紹介します。

・レゴを活用することで「言葉」が与える意味合いよりも、より具体的でかつ深みのある考えを表すことができる（自治体職員）

・手は脳の一部とファシリテーターの方が表現していましたが、直感的にレゴを使って表現し、その抽象的なものを言葉の意味付けを行って表現すること…意味付けを行うために、意識の水面下の部分を掘り起こさせることが大切であると思いました（企業人事）

・言葉が自分の内面から沸き起こってくるという不思議な感覚を、多くの生徒に体験して欲しい（教員）

